

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
発達支援ルームおとまちLabo八王子横川		2026 年 7 月 15 日				
		チェック項目	はい	いいえ	はいの理由	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		定員を遵守し、一人ひとりが安全に活動できる十分なスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		利用児童の人数や特性に応じて職員を配置し、安全かつ丁寧な支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		視覚的な掲示や活動場所の区分けを行い、子どもが見通しを持って安心して過ごせる環境づくりを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		毎日の清掃・消毒を実施し、活動内容に応じた安全で快適な環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		必要に応じて個別対応スペースを活用し、落ち着いて過ごせる環境を確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	☐		毎日の打合せや定期的な職員会議で目標や支援内容を振り返り、改善につなげています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		☐		保護者アンケートを実施し、ご意見を支援内容や事業運営の改善に反映してまいります。(開業後初のアンケート)
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		職員会議や日々の情報共有を通じて職員の意見を取り入れています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	☐		外部評価や行政からの助言を参考にしながら業務改善に努めています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		☐		外部研修への参加や事業所内研修を定期的の実施し、専門性の向上にさらに努めてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐		支援プログラムを作成し、ホームページ等で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	☐		保護者面談やアセスメントを通じてニーズを把握し、個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		支援会議を実施し、多職種で意見を出し合いながら支援内容を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐		個別支援計画を職員間で共有し、統一した支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		標準化された検査結果や日々の観察を組み合わせ、多面的に児童の状況を把握しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐		本人支援・家族支援・地域連携・移行支援を踏まえた支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		活動内容は職員全員で意見を出し合いながら企画しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐		理科実験・工作・調理・自然体験・音楽など多様な活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	☐		個別活動と集団活動を児童の特性に応じて組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	☐		支援前にミーティングを行い、役割分担や支援方法を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	☐		支援終了後に情報共有を行い、改善点を次回支援へ活かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	☐		支援記録を毎日作成し、支援内容の検証・改善に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	☐		定期的なモニタリングを実施し、必要に応じて支援計画を見直しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	☐		サービス担当者会議には担当職員が参加し、情報共有を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	☐		学校・相談支援事業所・医療機関等と必要に応じて連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	☐		学校等と情報共有を行い、一貫した支援に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	☐		就学・進学時には必要な情報提供を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	☐			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	☐			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	☐			
	31	(31は、事業所のみ回答)	☐			必要に応じて児童発達支援センターへ相談し助言を受けるように致します。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	☐		地域イベントや公共施設を活用し、地域との交流機会を設けています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	☐		送迎時や面談等で日々の様子を共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	☐		家庭での関わり方について助言や情報提供を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	☐		契約時に運営規程や利用料金、支援内容を丁寧に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☐		保護者・本人の意向を確認しながら支援計画を作成しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	☐		支援計画を説明し、同意をいただいた上で支援を開始しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☐		随時相談を受け付け、必要に応じて面談を実施しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		☐		保護者交流会等の開催を今後も検討しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☐		相談窓口を設け、迅速な対応を心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☐		ホームページやSNS、お便り等で活動内容を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐		個人情報保護規程に基づき適切に管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☐		写真やイラストなど視覚的な情報も活用し、分かりやすい説明を心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	☐		地域との交流を意識した活動やイベントへの参加を進めています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	☐		各種マニュアルを整備し、避難訓練・防犯訓練・感染症対策訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	☐		BCPを策定し、定期的な避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	☐		利用開始時に健康状態や服薬状況を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	☐		アレルギー情報を把握し、保護者と連携して対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	☐		安全計画を策定し、安全管理研修を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	☐		安全対策について保護者へ説明し、協力をお願いしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	☐		ヒヤリハットを記録・共有し、再発防止策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	☐		虐待防止研修を実施し、職員への周知を徹底しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	☐		身体拘束適正化指針を整備し、必要時は保護者へ説明・同意の上、個別支援計画に記載しています。	